

野外スポーツ施設への導入施設・機能について

主な上位計画

計画	内容（一部抜粋）
豊島区基本構想	● 生涯にわたって学び、スポーツに親しむことができる環境づくり
豊島区基本計画	● スポーツ・レクリエーション活動の推進（子どものスポーツ活動の推進、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動への支援、高齢者のスポーツ活動の推進、スポーツ指導者の育成、区立スポーツ施設の充実）
豊島区スポーツ推進計画	● 『『スポーツで人と地域がいきいきと輝くまち』～誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、そこから生まれる喜びや感動を共有し、心身ともに健康な生活を営むことが出来るスポーツ都市の実現』（基本理念）

豊島区スポーツ推進計画における施策の柱

施策	施策の柱
施策1 誰もが取り組めるスポーツの推進	1) 子どものスポーツ活動の推進 2) 成人のスポーツ活動の推進 3) 高齢者のスポーツ活動の推進 4) 障害者のスポーツ活動への参加促進、普及啓発
施策2 スポーツを推進するための人材と組織の充実	1) スポーツ活動を支える人材の育成・発掘・活用 2) スポーツ活動を行う団体等の育成・支援・充実
施策3 スポーツをするための環境の充実	1) 区立スポーツ施設の充実 2) 身近な場所の確保・活用 3) スポーツに関する情報やニーズの把握・活用 4) 観るスポーツの推進
施策4 国際交流・観光・都市づくり政策等との連動	1) 東京オリンピック・パラリンピックへの助走とオリンピック・レガシーの創造 2) 豊島区国際アート・カルチャー都市構想との連動

現状と課題

豊島区の現状と課題

- 総人口約28.7万人 全国有数の高密度都市
- 総人口の約20%は、65歳以上の高齢者
- 単独世帯の割合が全世帯の60%を超えており、非常に高いが、ファミリー世帯数も増加の傾向

旧第十中学校跡地の現状と課題

- 不整形な敷地形状
- 区内では最大規模の区有地ではあるが、周辺区のスポーツ施設と比較すると限られたスペース
- 練馬区、板橋区との区境に立地
- 都市計画法上の第1種低層住居専用地域であり、大規模な建物は整備できない
- 敷地周辺は閑静な住宅街
- 敷地西側は私道（旧学校用地）で、舗装仕様から一般車両は進入できない
- スポーツ活動や地域活動の場として暫定活用中

豊島区におけるスポーツの現状と課題

【スポーツに関する意識調査（平成23年度）】

- 8割強の人が運動不足を「感じる」と回答
- 運動・スポーツを行っていない理由として、半数の人が「忙しくて時間がとれない」と回答し、約2割の人が「場所や施設がない」と回答
- スポーツ施設に対する要望として、約4割の人が「施設数、設備の増加」と回答。その他、「利用料金の検討」「短時間でも利用できるきめ細やかな料金設定」「開業時間の延長」「設備の最新化」「スポーツ教室の充実」と回答した人が2割を超える

【想定利用団体に対するアンケート（平成29年度）】

- 施設数の不足を指摘する意見が多く、複数の団体が他区の施設や都の施設を利用
- 施設が整備された場合、競技団体、スポーツクラブ、近隣の中学・高校、大学まで積極的な利用意向あり
- 経済性に配慮した施設整備・運営を求める意見が多い

野外スポーツ施設の基本方針（案）

1 多目的なスポーツ利用に対応する施設

- 様々な野外スポーツ競技や野外イベントなどが実施可能な多目的施設として整備・運営します。
- 限られた敷地面積や不整形な敷地形状などを踏まえ、各種競技施設等の規模をできるだけコンパクトに抑えるとともに、施設の一部共用化や簡易型設備の活用などを図ることで、多目的利用を効果的に実現します。

2 多様な主体が利用可能な施設

- 子どもから高齢者まで幅広い年齢層が、日常生活の中でいつでも、安全にスポーツに親しむことができる施設として整備・運営します。
- バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、障害者も利用しやすい施設として整備します。
- 区民利用を中心としながらも、区境という立地を踏まえ、他自治体居住者や区内在勤者なども利用できる施設として運営します。
- 区民のスポーツへの関心・意欲を高め、スポーツ人口の裾野の拡大を図る施設として整備・運営します。

3 周辺環境・地域と調和し、くらしを支える施設

- 大規模な建物は整備せず、敷地周辺の住環境に配慮した施設として運営します。
- 高密度都市の貴重なオープンスペースとして、地域の交流や賑わいの創出に貢献できるよう整備・運営します。
- 学校跡地としての経緯や役割などを踏まえ、防災機能を取り入れて、大規模災害などの非常時に有効活用できるよう整備・運営します。
- スポーツを通じた人・地域の交流を促進し、地域コミュニティの活性化に寄与する施設を目指し、運営します。

4 経済性に配慮し、環境やニーズの変化に柔軟に対応できる施設

- 民間活力等の導入も検討しながら効率的・効果的な施設整備・運営を目指すことで、区の財政負担を可能な限り軽減します。
- 将来の環境変化を踏まえ、その時代の区民ニーズに即した柔軟な運営ができる施設として整備します。

野外スポーツ施設の基本計画の体系

基本計画

基本方針（第2回委員会で審議）

- 1 多目的なスポーツ利用に対応する施設
- 2 多様な主体が利用可能な施設
- 3 周辺環境・地域と調和し、くらしを支える施設
- 4 経済性に配慮し、環境やニーズの変化に柔軟に対応できる施設

野外スポーツ施設の
整備計画
（本日の資料2）

野外スポーツ施設への
導入機能及びその
考え方を整理

野外スポーツ施設の
管理運営計画
（本日の資料3）

野外スポーツ施設の
管理運営の考え方を
整理

※整備及び管理運営のコスト、手法、スケジュールなどは
第4回検討委員会にて審議予定

導入施設・機能の想定

左記の施設の基本方針（案）より、主に以下の施設の導入が想定されます。

導入施設	必要性・考え方
多目的 グラウンド	＜様々な野外スポーツ競技、イベントなどを実施できる施設とするため＞ 23区の中でも野外スポーツをする環境の充実度が低く、「スポーツに関する意識調査」でも「施設数の増加」の要望多数。 - アンケートにおいても様々な競技団体をはじめクラブチーム、周辺高校、大学、など複数の団体から設置要望あり。 - 既存施設でも主に少年野球、少年サッカー団体が活動している状況。
テニス コート	＜幅広い年齢層が、スポーツに親しむことができる施設とするため＞ - アンケートにおいて競技団体をはじめ周辺高校、大学など複数の団体から設置要望あり。 - シニア層・主婦層の利用により、平日昼間の稼働が見込めるなど、施設運営の収益性の観点から、複数の民間企業から設置要望あり。 - 既存施設でも複数のテニスクラブが活動している状況。
管理棟 （クラブハ ウス）	＜人・地域の交流や賑わいの創出に貢献できる施設とするため＞ - 検討委員会において地域の集会機能の必要性について指摘あり。 - 高齢者向けの教室事業等のスペースを要望する民間企業多数。 - アンケートにおいても複数の団体から設置要望あり。特にシャワールーム、更衣室、トイレを求める要望が多い。

上記施設の他、施設の基本方針より主に以下の機能の導入が想定されます。

導入機能	必要性・考え方
駐車・駐 輪機能	＜多目的に、多様な主体が利用できる施設とするため＞ - アンケートにおいて競技用具が多いため駐車場を要望する団体多数。また、既存の利用者協議会を中心として駐輪場の要望多数。 - 立地環境を踏まえると車での来場が想定されるため駐車場の台数は多い方が望ましい、とする意見が民間企業から多く挙がっている。
防災機能	＜非常時に有効活用できる施設とするため＞ - 検討委員会において防災機能の必要性について指摘あり。 - アンケートにおいても複数の団体から防災に係る機能の設置を求める要望あり。
照明機能	＜多様な主体が、いつでも利用可能な施設とするため＞ - アンケートにおいて、競技団体、周辺の中学、高校など複数の団体から設置要望あり。 - 施設運営の収益性の観点から、複数の民間企業から設置要望あり。

野外スポーツ施設への導入施設・機能について

野外スポーツ施設の整備計画（案）

それぞれの施設は、以下の機能を有した施設として整備します。

施設の利便性をより高めるために、以下の機能を導入します。

多目的グラウンド

- 様々な野外スポーツ競技、イベント等を実施できる施設として整備します。
【参考資料 3】
- 主に、サッカー、フットサル、野球（少年野球）、ラグビー、グラウンドゴルフに対応する施設とします。
- 様々な野外スポーツ競技や野外イベントへの対応を考慮し、人工芝グラウンドとして整備します。人工芝は、多目的利用に配慮したものを採用します。
【参考資料 4】
- グラウンドのコートサイズは、成人のサッカー競技が実施できる面積を確保します。
- 少年野球が実施できるように計画します。なお、サッカー等との兼用利用が想定されることから、仮設マウンドによる対応も検討します。
- 観客席は、競技スペースの確保を優先的に考え、余剰スペースを活用する形で設置し、仮設席による対応も検討します。

テニスコート

- 子供から高齢者まで幅広い年齢層、多様な主体が利用できる施設として整備します。
- テニスコートは既存施設も有している最低限2面を確保します。高齢者等の利用を考慮して人口芝コートでの整備を基本とします。

管理棟

- 人・地域の交流や賑わいの創出に貢献できる施設として整備します。
- スポーツ施設利用者のための更衣室、シャワールームを設置します。
- スポーツ施設利用者のミーティング、地域住民の集会、（運営者による）教室事業の実施等を想定し、多目的スペースを設置します。
- 施設利用者のための男女トイレを設置します。また、バリアフリーの視点から多目的トイレやエレベーターの設置を検討します。【参考資料 5】

駐車・駐輪機能

- 自動車、自転車での来場を想定し、駐車・駐輪機能を設置します。
- 駐車場については、周辺の道幅が狭く、歩行者等への安全性の配慮が必要であることなどを踏まえ、適切な台数を検討します。
- 駐輪場については、幅広い世代が使いやすい設備を検討します。
- 利用者以外の不適正な駐車を防ぐため、駐車場有料化等の対策を実施します。
- 今後予定されている下水道工事は、将来の追加工事やメンテナンスなどを考慮して駐車場部分での実施が適切であることから、これを踏まえた配置計画とします。
【参考資料 6】

照明機能

- 主に社会人の夜間利用や冬季の夕方以降の利用を想定し、照明機能を設置します。
- 周辺の住宅街への影響を十分検討し、植栽による影響の緩和、照明設備の高さや照射の方向を工夫するなどして配慮します。【参考資料 7】

防災機能

- 災害時に周辺住民の一時待機場所になることを想定し、管理棟の中に、水、乾パン、毛布などを保管するミニ備蓄倉庫を設置します。
- かまどベンチや防災トイレなどの設置を検討します。

その他

- 既存樹木を活かしつつ近隣環境などに配慮した植栽環境を整備します。また、植栽などにより、近隣への騒音の影響を軽減するよう努めます。
- 敷地外周には、防球ネット等を設置し、周辺の安全性に配慮した施設とします。

（遊歩道に関する検討結果は【参考資料 8】のとおり）